

CONTENTS

2
[Special 1]
シリーズ
この時代を生きる家
Tackling the next 100years

12
[Special 2]
最終章を彩る街へ
THE SWEDENHOUSE REPORT

18
[Technology]
スウェディちゃんの
なぜ?なに?どうして?
教えてムース先生!

22
[Culture]
私の小宇宙Sweden

23
[Life Style]
グリーンと暮らせば
Owner Gardener's Life

24
[Performance]
たがわない約束

25
[Life Style]
ミュークの扉
knock to mjuk

26
[SWEDEN HOUSE CIRCLE]
Good Neighbors

企画・発行：スウェーデンハウス(株)
発行人：村井 秀壽
編集人：大竹 愛子
プロデュース：(株)DGコミュニケーションズ
制作：(株)東北新社

表紙写真：Cecilia Larsson Lantz/Imagebank.sweden.se

第3回

「+αの家」

心まで優しくなっていていくその家は、
福祉の国の、ゆとりと思いやりでできている。

この時代を
生きる家

シリーズ | Tackling the next 100years |



この時代を 生きる家

以前実家の両親が我が家に泊まりに来た時に、股関節の手術を終えて間もない母が、「あなたの家は動きやすい。階段も苦ではない」と言ってくれたことがある。どれほどこの家がラクなのか、元気な私にはよくわからなかったが、嬉しかったのを覚えている。

恐らくは、ちょっとしたしたことなのだと思う。階段の高さや、廊下の幅、手すりの位置…ほんの数センチの違いが、まだ痛みが残る母の身体にとっては、大きな助けとなったのだ。それに加えて、家中どこでも温度差がないということもある。雪の多い私の田舎では、一度炬燵に入ると動けなくなる。意を決して廊下に出たなら、走って移動するのが常だった。人の自由な動きを妨げる障壁は、家の中にもたくさんあるのだ。



この時代を 生きる家

— シリーズ — Tackling the next 100years —



スウェーデンハウスのモジュールや機能は、北欧住宅をお手本に、ノーマライゼーションの考え方でできている。それがスタンダード仕様なのだから、どのスウェーデンハウスももれなく人に優しく、あたたかい。30年で建て替えるのではなく、100年住み継ぐ家だ。老いずに暮らすことが誰にもできない以上、当然のことなのかもしれないが。

段差がなく、車いすも通れる廊下幅は、二人の人が支え合いながら歩ける広さ。ヒートショックの心配もなく、気持ち安らぐ木の家：身体や心が弱った時にも、変わらない強さと優しさでフォローしてくれる家があるということ。は、圧倒的な安心感だ。この家の完成度の高さを、ここでもまた思い知る。

ノーマライゼーションとは、障がいを持つ人や高齢者が、他の人たちと同じように、ノーマル

この時代を 生きる家

に生活できる社会を目指して、1950年代に
北欧、デンマークで生まれた言葉だ。近年では
少し意味が広がり、赤ちゃんや子ども、外国の
人たちなど、全ての人にとって暮らしやすい社
会構築のことを指すことが多い。建築における
バリアフリーや、ユニバーサルデザインなども
ノーマライゼーションの一環。北欧の国々は、
他国に先駆けて住宅や街の整備を進めてきた。

因みに、スウェーデンでは「バリアフリー」や
「ユニバーサルデザイン」という言葉をほとんど
耳にしないそうだ。バリア(障壁)がないのは当
たり前。家の中も街中も、車いすでどこにでも
いけるし何でもできる。だから周りの人は特別
扱いをしない。区別をしない。助けを求められ
ればすぐに手を貸すけれど、そうでない限りは
「普通」に接する。それが何よりの思いやりだと
知っているからだろう。弱い状況にある人たち



この時代を 生きる家



が負い目を感じず、「自分は特別なんだ」と思わなくてもいい世の中は、きっと誰もが幸福だ。みんなが同じで、ノーマルであるようにというノーマライゼーションは、スウェーデンではそんな段階にあるらしい。国が施すハード面の整備も、人の心の中のバリアも、ほぼ取り除かれて、すでに日常になっている。スウェーデンがさまざまな側面で「福祉大国」と呼ばれるゆえんだと思う。

福祉の国が辿り着いたモジュールと機能の家で、我が家は今、暮らしている。豪邸でもなく、贅沢な暮らしでもないが、とても満ち足りている。たぶん、家族みんなが段差なく、同じように幸せだ。母を笑顔にしたプラスαの思いやりが、日々私たちにもジャブのように効いているからなのかもしれない。大きな窓から見える景

色、室内の解放感、動くことを妨げない温度環境：やりたいことが、今日もたくさんある。

小さな快適が積み重なって、幸せな家ができるなら、それが豊かな社会への第一歩なんだと私は思う。

【モデルハウスインフォメーション】

スウェーデンハウスのモデルハウスには、一つひとつの家にも、安心して暮らせる心地よさがあります。また築年数を重ねて味わいを深めてゆく、それぞれの美しさがあります。ぜひ実際に見て、感じてください。

<https://www.swedenhouse.co.jp/modelhouse/>

【掲載モデルハウス】

P2・P3・P6・P7 つくば第1モデルハウス

P4・P8・P9・P10 さいたまハウジングパークモデルハウス

(※展示会場閉鎖に伴い、2020年9月22日でクローズ)